

研究構想シート	学校名	益田市立桂平小学校
	氏名	桐田 康子
A 研究主題 自信がもてる私になる～異年齢集団での話し合い活動を通して～		
B 研究の目的 子ども会議を通じた話し合い活動を基盤に①聴く力②伝える力③考えを高め合う力、を育み、お互いに協力し認め合う中で自分の良さや可能性を發揮し、自分に自信をもつことができる児童の育成を目指すため。		
<p>C 子どもの実態</p> <p>○大きな声であいさつをしたり、お礼など感謝の気持ちを伝えたりすることができる。</p> <p>○全体的に仲が良く、友だちを大切にすることができる。</p> <p>○素直に人の話を聞くことができ、言われたことを真面目に取り組む。</p> <p>▲人から言われたら行動に移すことができるが、自分から主体的に動くことが難しい。</p> <p>▲失敗や間違いを恐れ自信がない。</p> <p>▲自分の思いを言葉にすることが難しい児童がいる。</p> <p>▲相手の話を黙って聞くなどの聞く姿勢は良いが、自分の考えと相手の考えと比べながら聞いたり、考えながら聞くことが難しい。</p> <p>▲13人という少人数のため、色々な人との関わりや大きい集団での経験が少ない。また、大人の手が届きすぎるため、手を出しすぎている。</p>	<p>E 手立て・内容（研究仮説）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の身近な議題、話し合いたくなる議題の選定を行う ・定期的に子ども会議を開き、自分たちで話し合い、決定し、実行することの喜びを実感できるようにする ・出た意見をまとめる方法を分かりやすいネーミングで提示し、複数の意見が出た時のまとめ方や決定の仕方が分かるようにする ・議題箱を設置し、子どもたちから議題を出させることで主体的に会議に参加できるようにする ・出た意見や決まったことなどが視覚的に分かりやすくなるように板書の工夫やICT等の活用を行う <p>F 検証方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ①児童の実態把握（職員間の意見交換、アンケートの実施） ②子ども会議の実施（月1回程度） <ul style="list-style-type: none"> ・会議の振り返り ・手立てについての評価 ・改善 ③事後アンケート調査 ④考察、まとめ <p>G 研究計画</p> <ol style="list-style-type: none"> ①定期的に情報共有（担任会）を行い児童の成果等の実態を把握する ②子ども会議の様子を観察し、変容を記録する ③児童のアンケートから考察する ④研究のまとめを行う 	<p>D めざす子どもの姿</p> <p>【学校教育目標】</p> <p>「未来を切り拓く力を身につけた心豊かな子どもの育成」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学ぶ子ども・・・意欲をもって主体的に学ぶ子ども、考えをしっかりとち、学び合い・高め合う子ども ②温かい子ども・・・互いを認め合い、仲良くする子ども、明るいあいさつができる子ども ③たくましい子ども・・・根気強くやり抜く子ども、自らの思いを言葉で表現できる子ども <p>（めざす児童の具体像）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①聴き合う姿：友達の考えを自分事として聴き、友達の考えと自分の考えを比べながら聴くことができる。 ②伝え合う姿：自分の考えをもち、伝えることができる。自分の考えを言語化して、分かりやすく人に伝えることができる。 ③高め合う姿：他者の考えを聞き、自分の考えと比較しながら、お互いの考えや意識を高め合うことができる。 ④自分を肯定する姿：自発的、自治的な活動を通して、互いに協力し合い認め合う中で、自分が他者の役に立つ存在であることを実感し、自分の良さや可能性を發揮して自信をもつことができる。また、他者とのかかわりによって自分が必要とされていることを実感することができる。